

様式1

令和3年度 年度 事業評価書

評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月分
施設名	鳥取市鹿野往来交流館
指定管理者名	株式会社ふるさと鹿野
指定管理期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
施設所管課名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書面・聞き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	書面・聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書面・聞き取り	
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	書面・聞き取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	4	書面・聞き取り	年間を通して様々な地域活動に参加している。20回/年
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	書面・聞き取り	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	書面・聞き取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	書面・聞き取り	
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書面・聞き取り	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書面・聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	書面・聞き取り	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	書面・聞き取り	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	書面・聞き取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書面・聞き取り	
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	書面・聞き取り	
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書面・聞き取り	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書面・聞き取り	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書面・聞き取り	

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
V. 施設運営に関する情報の公開				
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	書面・聞き取り
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	書面・聞き取り
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書面・聞き取り
VI. リスク管理の状況				
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書面・聞き取り
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書面・聞き取り

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	<p>コロナ2年目となり核となる施設山紫苑は利用者の回復が見られず、6月2月3月と延べ40日休館を余儀なくされた。利用者は全体で例年35%に留まる。鳥取市より色々支援をいただくが売り上げは伸びず昨年に続き大幅な赤字計上となった。一方、温泉館はコロナに対する誘客支援事業のWe Love山陰キャンペーンが年間通し実施され、利用者は例年以上に増加し、昨年に続き大幅な黒字計上となった。そば道場は雇用調整助成金により昨年に続き黒字計上となったが、誘客支援事業はあったものの利用者は例年までの回復には至らなかった。おもしろ市場は商品不足や道の駅気菜里との関係もあり赤字となった。そば処も利用者が回復せず赤字計上となった。加工所は商品製造を餅ときな粉のみに限定し、これまでの乾そばに鹿野そば粉6.5割と10割使用の半生麺を加えて販売したが、赤字の縮小には至らなかった。切花は盆・正月など繁忙期には利益確保が出来たが、その他の月ではマイナスとなり、3月の彼岸で最終的に利益を確保することができた。農業はスーパーなどこれまでの販売先の売れ行きが不振で、JAなどに単価は安が大量に販売したことで昨年並みの売上となった。その他そば関係や運根も昨年並みの収入で、最終的には交付金が増加したことで連続4年目の黒字確保が出来た。鹿野往来交流館はコロナにより大人数のイベントが中止となる中、“三名城跡スタンプラリー”や地域資源をめぐるウォーキング、全国街道交流会議など色々な団体と連携した“森と海と里の“生業”に学ぶとっとりSDGsツアー”などのイベントや“昭和レトロ展”など館内展示を実施した。全体としてコロナの影響は大きく山紫苑などの赤字部門をその他の黒字部門で賄うことができず、今年度は16,142千円の赤字を計上する結果となった。</p>
施設所管課	<p>核となる施設「山紫苑」の経営改善に向け、独自にコンサルをつかった改善計画書を作成し取り組んだが、新型コロナの影響を受け改善には至らず、経費削減等取り組むも追いつかない状況であった。他施設の収益でも補えず前年より赤字収支幅は広がっている状況である。喫緊の課題として、山紫苑の経営改善が急務である。</p>

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	<p>飲食部門はリピーターや地域の方々の利用が増えた。しかし食事を求めて来館される方はまだに多く、再開を望む声が多いが現状再開の目は立っていない。物販部門は商品入替を販売状況に合わせて調整したり、レイアウト変更するなど常時変化を持たせ、購入意欲を促すよう努力したがコロナの影響で観光客も少なく伸び悩んだ。</p>
施設所管課	<p>新型コロナの影響下、利用者数が回復しない状況を考えると喫茶、物販とも前年を上回る売上を上げていることは評価できる。イベント等も積極的に企画実施されており、前年比で利用者数も微増。次年度以降、広報等情報発信を強化し、集客増に努めていただきたい。</p>

4. 総括コメント

指定管理者	<p>今期も新型コロナウイルス感染拡大予防のため大人数での企画事業は中止となり実施できませんでしたが、県内在住の方々を中心とした小規模企画や館内展示、密にならないよう感染防止を考慮した長期企画を実施しました。他団体との連携イベントでは県内外からの多くの参加があり知名度アップや周知の強化を図ることができました。その他継続して鹿野町の地域資源の再発見や再認識に取り組みました。今後も引き続き他団体との連携し交流・関係人口の拡大と集客増大を目標としたいと考えます。</p>
施設所管課	<p>令和3年度は、鹿野地域外の施設・団体等と連携した企画を増やした年で、鹿野地域の情報発信ができたことは評価したい。次年度以降も継続して地域の情報発信を行い、鹿野地域の観光と活性化に寄与されたい。</p>

※記入について

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている
確認方法 (施設所管課のみ)	書類確認、聞き取り、現地(館内)確認、実態確認等	
備考	評価区分が3以外である理由やその他の特記事項	

施設名	鹿野往来交流館
-----	---------

1. 施設利用者数

(単位:人)

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
来館者数	20,000	20,271	20,000	9,369	20,000	10,857				
	20,000	20,271	20,000	9,369	20,000	10,857				

2. 事業収支

(単位:円)

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
食事料	1,366,088	1,436,628	1,366,088	797,870	0	0				
喫茶売上	643,000	514,558	643,000	282,536	685,000	473,312				
売店売上	1,130,000	1,344,636	1,130,000	717,428	1,430,000	1,140,094				
利用料	0	6,616	0		0	909				
委託販売手数料	0	44,712	0	24,647	0	22,886				
指定管理料(受託料)	16,433,328	16,587,152	16,336,800	16,501,818	16,336,800	16,508,183				
その他	0	0	0	0	0	0				
受取利息	0	103	0	109	0	134				
雑収入	231,939	136,242	268,000	725,209	4,500	820,913				
収入計(A)	19,804,355	20,070,647	19,743,888	19,049,617	18,456,300	18,966,431				
支出計(B)	19,718,871	19,807,238	19,646,890	18,778,193	18,395,700	17,364,273				
事業収支A-B	85,484	263,409	96,998	271,424	60,600	1,602,158				